

一人ひとりに合った教育

子どもたちの学校での学習や対人関係でのつまづきは、本人のやる気や性格、育てられ方に原因があると思われがちですが、最近、それだけではなく、個々の特性にも関係していることが分かってきました。これらの特性に応じたかわり方をすることで、子どもたちが苦手とするところが減り、いいところをさらに伸ばすことができます。

特別支援教育では、子どもたちが抱えるつまづきを減らすため、通常の学級での授業や日々の指導について改善を図り、必要に応じて個別指導の場（通級指導教室）を設けています。

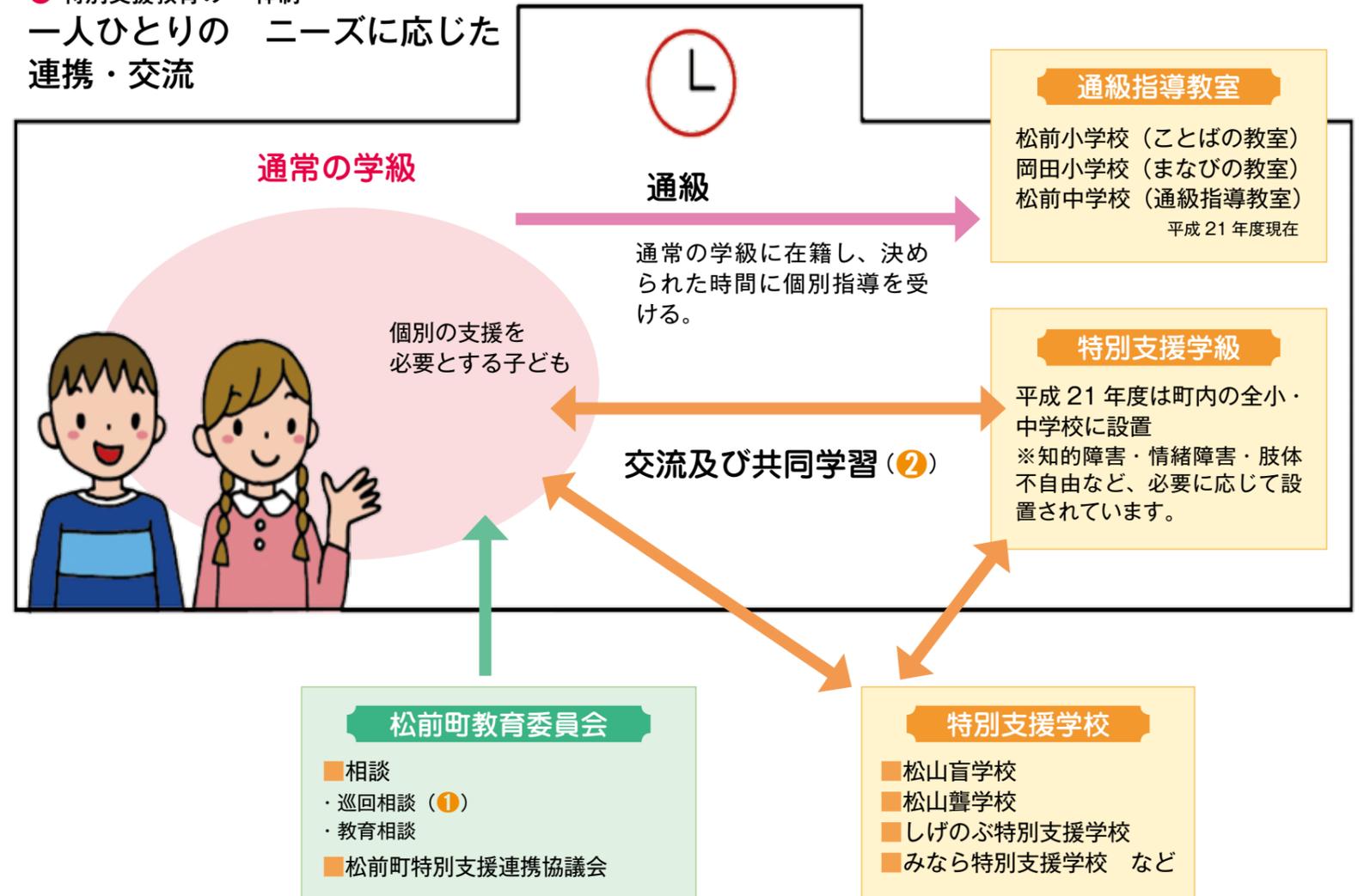
通常の学級だけでは必要な教育を行うことができない場合には、教育の場を特別支援学級や特別支援学校に移し、交流及び共同学習を通じて、通常学級の子どもたちと共に学びながら、それぞれ必要な教育を受けることができます。

このような取り組みを通して、個々に合った学習により、それぞれが持つ能力を発揮することで、全ての子どもたちがお互いに支え合い、認め合う「共生社会」の実現をめざします。

共に学び、共に育つ教育をめざして

特別支援教育に取り組んでいます

● 特別支援教育の体制
一人ひとりのニーズに応じた連携・交流



① 巡回相談って何？

保護者や保育士、教員が、子どもの発達や子育ての相談ができる場として「巡回相談」があります。

相談員が、実際に学校や保育所、幼稚園に来て、子どもたちの様子を見た後、支援の方法を指導してくれます。

松前町では、

元小学校長

特別支援教育スーパーバイザー

渡部 徹 先生

愛媛大学教育学部准教授

吉松 靖文 先生

愛媛大学教育学部准教授

青井 倫子 先生

などの専門の人から、適切な助言をいただいています。

巡回相談を受けた保護者の感想

集中力がなく、数の学習が分かりにくく、どうしたらよいか悩んでいました。渡部先生は、相談前に子どもの授業の様子を見てくださり、数をイメージするために、百玉そろばんや、トランプなどを取り入れてゲーム感覚で繰り返し覚える・・・など短い相談時間の中でポイントをおさえ、わかりやすく教えてくれました。先生の穏やかな話し方で、話下手の私は緊張がとけて、相談することができました。巡回相談を受けて、親も子どももプラスになりました。



② 交流及び共同学習って必要？

個別に支援を必要とする子どもが地域社会の中で積極的に活動するためには、通常の学級に在籍する子どもとの交流や共同学習を通して、相互理解を図ることが大切です。

松前町の小・中学校では、運動会や遠足などの学校行事や、国語や音楽などの教科学習で、交流及び共同学習をしています。

この活動は、支援を必要とする子どもにとって有意義であるばかりでなく、周りの子どもたちや地域の人たちが、その子どもとその教育に対する正しい理解と認識を深めるための絶好の機会でもあります。

お子さんについて、心配なことや気になることがありましたら、町内の各保育所、町立幼稚園、小学校、中学校又は学校教育課までご相談ください。

☎ 985-4134
学校教育課